

7月28日の日本株の急落について

AI・半導体関連が大幅続落もそれ以外は底堅い

2026年7月28日

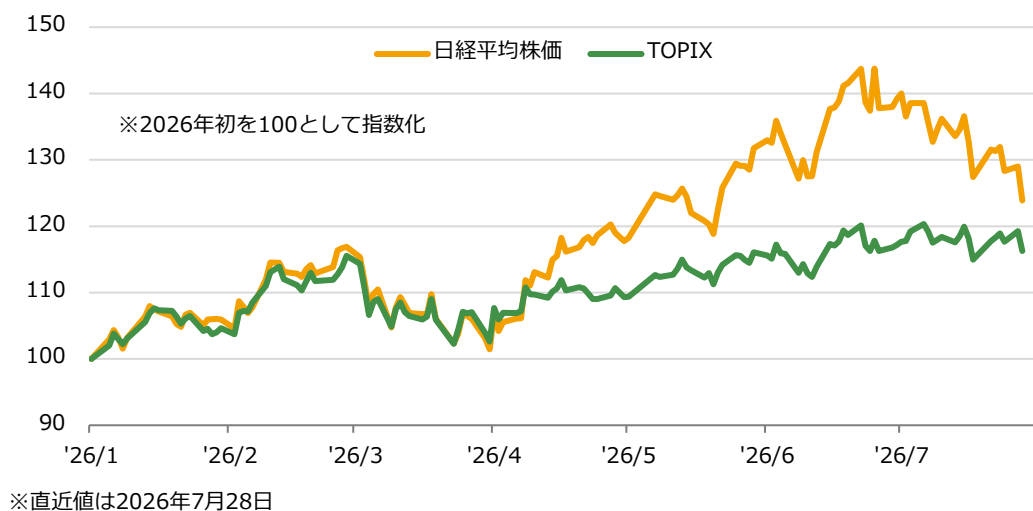
日本株のファンダメンタルズに目を向けると、経済も企業業績も堅調

7月28日の日経平均株価は前日比2,566円安（▲4.0%）となり、6月25日の高値（終値ベース）から▲14%の水準となりました。オランダ企業が独占的に行ってきた液浸型深紫外線（DUV）露光装置の製造を中国企業が開始したとの報道を受け、半導体製造装置における競争激化が嫌気されました。前日の米エヌビディアの下落や、28日の韓国株の急落（前日比▲10%超）も投資家心理を冷やしました。

世界的にAI・半導体関連株への売りが続いています。4月以降の一極集中相場で株価が大幅に上昇した反動の影響が大きいと考えています。AIインフラ投資の収益化と持続性への懸念から、AIテーマへの慎重な見方が一部で台頭していることも事実ですが、ファンダメンタルズに関する見方を変えるような材料が出てきているわけではありません。AI関連分野の高い成長性を踏まえると、過度に悲観的になる必要はないと当社は考えており、利益確定と見られる売りが落ち着けば再び上昇基調に戻ると考えています。

他方、AI・半導体関連株以外は底堅い値動きとなっており、より幅広い日本株式市場の株価動向を表すTOPIXの本日の下落率は▲2.5%、7月6日につけた高値からの下落率は▲3%程度にとどまっています。日本株のファンダメンタルズに目を向けると、経済も企業業績も堅調です。当社が中期的な株価の押し上げ要因と考える日本株式市場の構造変化は着実に進展しており、政府の成長戦略も追い風となります。まずはボラティルな株価動向が続く可能性がありますが、当社の日本株への強気スタンスは不変です。

日経平均株価が急落するなかでも、TOPIXは底堅く推移



（出所）ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント